

組合員 各位

発信日：2026年6月3日

【現在、関東地方にいるドライバーへ】

台風の関東直撃・上陸に伴う現地下車・待機および安全確保について

現在、台風が関東地方に最接近・上陸します。現在、関東エリアで運行中、または荷受・荷降ろし待ちのドライバーの皆様は、記録的な大雨や暴風による「冠水」「動けなくなるリスク（立往生）」「強風事故」が間近に迫っています。自らの命と車両を守るため、以下の安全指示に従い、徹底した警戒行動をとってください。

1. 運行中ドライバーへの緊急指示（走行時の危険回避）

① 冠水・浸水リスクの徹底回避

- 関東の都市部や湾岸地域では、短時間の豪雨でアンダーパス（立体交差の下）や低地が一瞬で冠水します。「これくらいなら通れる」という思い込みは捨て、迂回を徹底してください。
- 河川付近や斜面沿いの道路など、増水・土砂崩れのリスクがあるルートは通行を避けてください。

② 強風時の横転・スリップ警戒

- 特に湾岸エリア（東京湾岸、アクアライン周辺など）や高速道路の橋梁の上では、大型トラックを横転させるレベルの突風が吹く恐れがあります。
- ハンドルを両手で強く保持し、いつでも停まれる速度まで減速するか、早めに最寄りのSA・PAへ退避してください。

2. 現地（関東）待機・荷受待ちドライバーへの指示

① 安全な待機場所の確保

- 配送先や荷受場所での長時間の待機が予想される場合は、その場所が冠水や浸水の危険がない高地か必ず確認してください。
- 看板の落下や街路樹の倒壊、周囲の建造物が崩れるリスクのない、開けた安全な駐車スペースを選定してください。

② 無理な荷卸し・荷受の拒否

- 暴風雨の中での屋外作業やシート掛け、あおりの開閉は、突風による骨折や転落、貨物の飛散に繋がり大変危険です。
- 安全作業が困難な場合は、荷主や運行管理者に即座に報告し、天候回復を待つ調整を行ってください。

3. ドライバーに対してのこれからの注意事項

- 現地の動静報告：現在「どこで待機しているか」「進路の状況はどうか」を、定期連絡または運行管理システムを通じて確認してください。
- 帰路（日本海側への戻り便）の判断：関東から新潟・山形・秋田方面へ戻る際、関越道や東北道等の主要高速道路が通行止めになる可能性が非常に高い状況です。運行管理者より指示してください。
- トラブル発生時の第一報：万が一、車両の故障、周囲の道路冠水による立往生、物損などが発生した場合は、周囲の安全を最優先に確保した上で、即座に会社に連絡するように指示してください。